

## ◆医師の異動（3月）

### ■退職（H30.2.28付）

泌尿器科 塚 晴俊（つか はるとし）  
リウマチ内科 川中 紀邦（かわなか のりくに）

## ◆医科歯科連携に関する研修会を開催しました

平成30年2月1日（木）に、当院講堂において医科歯科連携に関する研修会・第294回開放型病床生涯教育研修会を開催しました。

第1部では、京都医療センター歯科口腔外科 下郷麻衣子先生から、「緩和ケア病棟の歯科的リアルワールド」をテーマにご講演をいただきました。

第2部では、「終末期に歯科はどう関わるか」をテーマに、パネルディスカッションを行いました。浅井東診療所 松井善典先生と澤歯科医院 澤秀樹先生から在宅での実践例について、当院、川島和彦外科部長と横川竜生泌尿器科部長からは、入院中の患者さんへのケアについての情報提供があり、地域を含めた医科歯科連携の必要性について理解を深めることができました。



## ◆市立長浜病院開放型病床運営委員会報告

平成30年2月22日（木）開業医の先生・医師会からのご出席をいただき、当院で開放型運営委員会を開催させていただきました。当院での開放型病床利用数、利用状況など報告をさせていただきました。

開業医の先生方からは、共同指導のための来院が困難であること、在院日数が短くなったことで急性期病棟での来院は困難となっていることから、一般入院で依頼することが多くなっているという現状を知ることができました。反対に療養病棟や回復期リハビリテーション病棟でのほうが利用しやすいとのご意見もいただきました。

当院からはメンテナンス入院や呼吸器リハビリテーション入院などについても報告させていただきました。ご出席いただいた先生方ありがとうございました。

## ◆お知らせ

インターネットを利用したカルナコネクトによる予約システムを5年前より導入していましたが、利用規約の解除に伴い今回利用を中止することに決定しました。

当院でのカルナコネクトの利用は、今年度0件、昨年度も5件に満たないことがあり利用停止とさせていただきました。

新しく「びわ湖あさがおネット」での予約システムの導入に関しては、準備が整い次第お知らせさせていただきます。ご迷惑をおかけいたしますがよろしくご容れ申し上げます。

## 編集後記

今回のオリンピックでは、精神力の強い選手の活躍を感じました。どうすればあんなに強い精神力がつくのか知りたいと思っています。

我が家ではカーリングばかり見せられていましたが、未だにルールが理解できません。少し学んでみたいと思っています。



Pink-Bu

## ほっといとき



救急告示病院  
日本医療機能評価機構認定病院  
地域がん診療連携拠点病院  
厚生労働省臨床研修指定病院  
周産期協力病院

## 市立長浜病院 地域医療連携だより

理念  
地域住民の健康を守るため、「人中心の医療」  
を発展させ、地域完結型の医療を進めます。

平成30年3月1日号 No.159

市立長浜病院ホームページ

<http://www.nagahama-hp.jp/>

市立長浜病院 検索



市立長浜病院患者総合支援センター 地域医療連携室  
〒526-8580 長浜市大成亥町 313 番地  
TEL:0749-65-2720 FAX:0749-65-2730

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当院病院事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。3月の外来診察担当医師表を別添資料でお届けいたしますので、ご査収ください。 敬白

## ◆世界腎臓デーイベント 市民公開講座

### 慢性腎臓病あなたは大丈夫？ ～高血圧は透析の危険があります～



腎臓代謝内科責任部長 森田 善方

「世界腎臓デー（World Kidney Day）」は腎臓病の早期発見と治療の重要性を啓発する国際的な取り組みとして、国際腎臓学会と腎臓財団国際協会によって共同で提案され、毎年3月の第2木曜日に実施することが定められました。

世界腎臓デーは世界6大陸100カ国以上の国々でさまざまな啓発キャンペーンが開催され、各国の医師やコメディカル、患者や患者家族が主体となって啓発活動を盛り上げます。日本でも日本慢性腎臓病対策協議会のホームページ（[http://j-ckdi.jp/world\\_kidney\\_day/index.html](http://j-ckdi.jp/world_kidney_day/index.html)）に掲載されている通り、各地で世界腎臓デーに関するイベントが開催されます。

湖北地域でも同様に慢性腎臓病の市民公開講座を2018年3月11日に開催します。滋賀医科大学内科学講座と市立長浜病院の主催で、本年度3回目になります。今回は高血圧をテーマに3名の講師からお話をします。

1つ目は万病の元であり、もちろん慢性腎臓病の危険な因子である高血圧症そのものについての講演です。

2つ目は、もし慢性腎臓病になっても適切な血圧治療をする事で腎臓を守り引いては健康寿命の増進につながる話です。

3つ目は減塩食の実際についてです。当院管理栄養士が、だしをかかせて減塩食を美味しく食べる工夫についてお話いたします。

当日は長浜市の協力で血圧測定コーナーを設けますので、普段から測る習慣がない方もご自分の血圧を知るチャンスです。また、減塩食の見本となる減塩みそ汁の試飲コーナーも設ける予定です。実際に減塩みそ汁を飲んで皆さんの味覚を調べてみましょう。減塩みそ汁が「ちょうどいい」と感じるなら、普段から減塩食ができています。よし、「物足りない、薄い」と感じるなら普段の食事もまだまだ良くできる余地があるのかもしれない。

市民公開講座「慢性腎臓病あなたは大丈夫～高血圧は透析の危険があります～」に是非ともご参加いただきご自分の、さらにはご家族の腎臓を守り健康長寿を目指すきっかけになれば嬉しい限りです。

（ご参加いただける方は2ページを参考に事前申し込みをしていただいた方が確実です。）

イベント詳細は2ページをご覧ください。



## ◆世界腎臓デーに向けて

世界腎臓デー 市民公開講座  
慢性腎臓病 あなたは大丈夫？  
～高血圧は透析の危険があります～  
日時 平成30年3月11日(日) 10:00～11:30(9:30から受付)  
会場 北ピワコホテル グラツィエ(2階)  
内容 講演  
★「高血圧が腎臓を悪くする！ ～万病の元、高血圧について学ぼう～」  
市立長浜病院 腎臓代謝内科 責任部長 森田 善方  
★「適切な高血圧治療で、腎臓を守り伸ばそう健康寿命！」  
滋賀医科大学 腎臓内科 准教授 荒木 信一  
★「高血圧の食事～だしをきかせておいしく減塩～」  
市立長浜病院 栄養科 管理栄養士 古株 陽子  
※同会進行 下坂クリニック 西村 正孝(敬称略)  
血圧測定コーナー(長浜市)と、減塩味噌汁の試飲を予定  
主催：市立長浜病院、滋賀医科大学内科学講座(腎臓内分科、腎臓内科)  
後援：滋賀県医師会、長浜市医師会、滋賀県看護協会、滋賀県薬剤師会、滋賀県理学療法士会、滋賀県作業療法士会、滋賀県言語聴覚士会、滋賀県福祉士会、滋賀県福祉士会、滋賀県福祉士会、滋賀県福祉士会、滋賀県福祉士会、滋賀県福祉士会

### 世界腎臓デー「市民公開講座」の開催

日時：平成30年3月11日(日) 10:00～11:30(9:30から受付)  
会場：北ピワコホテル グラツィエ(2階)  
テーマ：慢性腎臓病 あなたは大丈夫 ～高血圧は透析の危険があります～  
講演：「高血圧が腎臓を悪くする！ ～万病の元、高血圧について学ぼう～」  
市立長浜病院 腎臓代謝内科責任部長 森田 善方  
「適切な高血圧治療で、腎臓を守り伸ばそう健康寿命！」  
滋賀医科大学 腎臓内科 准教授 荒木 信一  
「高血圧の食事 ～だしをきかせておいしく減塩～」  
市立長浜病院 栄養科 管理栄養士 古株 陽子  
定員：100名(定員になり次第締め切ります)、参加費：無料

血圧測定コーナー(長浜市)と減塩味噌汁の試飲を予定

問合せ先：地域医療連携室 電話 0749-68-2300(代表)

## 長浜市保健指導実施者向けCKD研修会を実施しました

長浜市健康福祉部健康推進課 保健師 井上 佳代

長浜市では、健康寿命の延伸のため生活習慣病の発症予防や重症化予防を目的に、市の健診結果からリスクの高い方に保健指導や栄養指導を実施しています。

特に慢性腎臓病(CKD)の早期発見と重症化予防は、虚血性心疾患や脳血管疾患の発症抑制にも効果があるとされ、包括的なCKD対策こそが生活習慣病の重症化予防において有効ではないかとされています。

まずは、糖尿病や高血圧などの生活習慣病からCKDに至る事を住民の皆さんにわかりやすく伝えていく量形成ため、市立長浜病院腎臓代謝内科 森田先生を講師にお迎えしCKD従事者研修会を開催しました。

1月25日研修会当日は大雪でしたが、32名の保健師・管理栄養士等が参加し、時間を超過して専門医からの熱心なご助言を受け、普段悩んでいる事例や健診結果の読み取りを通し、CKD診療の視点から他の生活習慣病まで多岐にわたる知識を深める事ができました。

市における具体的なCKD対策、重症化予防の今後の取組については、市立長浜病院をはじめ地域医療機関の先生方とご指導をいただきながら、着実に進めていきたいと考えます。



## 米原市腎疾患予防対策支援事業「平成29年度慢性腎臓病事例検討会」

米原市健康福祉部健康づくり課 保健師 藤井 朋子

米原市では以前から生活習慣病の発症・重症化予防に取り組んでおり、なかでも慢性腎臓病(以下、CKD)は末期腎不全や虚血性心疾患などに至るハイリスク集団であるため、現在、市立長浜病院腎臓代謝内科の先生方の支援を受けながら、CKD対策について重点的に取組みを進めています。

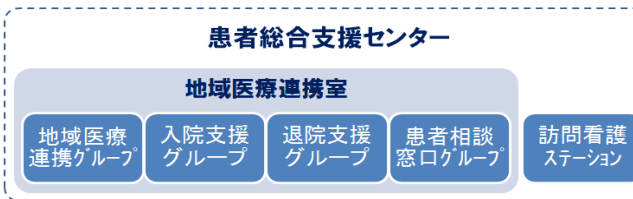
主な取組として、健診でのCKDの早期発見やCKDの重症化予防のための受診勧奨・保健指導が中心で、さらに連携による支援強化のため、毎年、講師として腎専門医の森田善方先生をお迎えして、行政、腎専門医、市内開業医の三者による慢性腎臓病事例検討会を開催し、CKDの適切な管理について検討を行っています。

平成29年度の検討会では糖尿病性腎症をテーマに、腎症の経過や専門医紹介のタイミング、疾患管理での注意点、最新の治療について検討し、理解を深めることができました。糖尿病は自覚症状が現れにくい生活改善に取り組みめない、治療を中断してしまうなどにより、血糖コントロールの悪化に陥り、重症化する恐れのある方々が多くおられ、市の喫緊の課題です。このような方々を腎症に進行させないために、今後も腎専門医である森田先生や、市内の先生方と連携を図り、取組みを推進していきたいと思ひます。



## ◆患者総合支援センター 平成29年度活動報告

患者総合支援センターは、外来受診時から入院後および退院後を見据えたうえで、患者さんを在宅および地域にスムーズにつなげるため、早期に情報収集・情報共有・連携・患者支援を行う体制組織として開設しました。各グループが連携しながら患者さんの生活を切らないよう関わっていきたくと考えています。



### 地域医療連携グループ

平成29年度1月末での紹介患者数は9,778件とたくさんのご紹介ありがとうございました。できる限りご希望に添えられるよう調整機能高めたいと思っています。至らないところも多く、ご迷惑をおかけしていることもあり、申し訳なく思います。皆さまのご意見を是非いただきたいと思ひます。

逆紹介率に関しては84.4%(平成29年度平均)と伸びてきています。これも地域の先生方のご協力をいただいているためと感謝いたしております。

当院で力不足となっている診療科もありますが、湖北では当院にしかない診療科も多くあります。お困りの際は一度ご相談ください。

また今年度から返書記載に關しての強化を開始しました。当院医師にアピールし、早期に返書ができるよう関わっていきたくと考えています。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

### 入院支援グループ

今年度より、入院を予定している患者が入院生活や入院後にどのような治療経過を経るのかをイメージでき、安心して入院医療を受けられるように、入院前の留意点や入院中に行われる治療の説明、入院生活に関するオリエンテーションを手術室・薬剤部・医事課などの他部門と連携し支援しています。

入院説明は個室でプライバシーに配慮し、入院や治療に対する不安や疑問点、入院に対するご意向などを確認し、各専門分野からの説明が必要な場合は担当者が相談室に向き、ワンストップ形式で対応しています。また、入院前から外来や病棟と情報共有し、入院早期から退院後までの切れ目のない、患者の生活を分断しない医療を支援することを心がけています。現在は診療科を限定していますが、徐々に拡大していく予定です。

### 退院支援グループ

今年度1月末日まで約700名の患者さんに退院支援看護師、社会福祉士が介入し在宅や施設など身体や社会的事情に応じた療養場所への退院をお手伝いさせていただきました。住み慣れた自宅や施設での看取りを希望される事例も近年増えてきました。4月以降30余名の方を住み慣れた場所での看取りに退院支援させていただくことができました。対応して下さる介護施設やかかりつけの先生方には大変感謝申し上げます。また、在宅療養を続けていくためにかかりつけの先生方や地域の訪問看護師さんに出席していただく退院時共同指導については約60件と、退院前カンファレンスの20%以上で実施することができました。今後も地域包括ケアシステムと高齢社会を見据え地域の皆様方と連携して参りたいと思ひます。

### 患者相談窓口グループ

昨年2月から患者サポート体制充実加算の算定が可能となり、午前は玄関ホールで午後には患者総合支援センターで相談業務を行っています。患者総合支援センターの入り口機能として、看護師を配置し各種相談を受けています。

平成29年度の相談件数は1月末で3,542件となり、その多くが受診に関する相談で82.5%を占めています。その他、退院調整に関する相談や在宅医療に関する相談、医療費に関する相談、がんの相談、ご意見など様々な相談があります。また、専門的な内容については各専門の職員が対応しています。相談対応の質の向上に向けて毎週カンファレンスを開き、患者支援に係る取組の評価等を行い、適切な相談対応ができるよう取り組んでいます。

### 訪問看護ステーション

訪問看護ステーションは①在宅緩和ケアの実践②医療ニーズの高い中重度のケアの実践を方針にあげ、市民の多様なニーズに対応できる訪問看護を提供しています。

今年度は、理学療法士1名を配属し、在宅リハビリテーションを開始しました。セラピストが生活状況や環境を把握し、日常生活に即した効果的なりハビリテーションを看護と連携しながら提供しています。がん、呼吸器疾患、循環器疾患の利用者さんの訪問依頼が年々増えてきました。院内の様々な専門職と同行訪問を行い、その人に合った質の高いケアの提供を目指しています。また、訪問看護をより身近に知ってもらうために病棟看護師の同行訪問を開始しました。

今年度も多くの地域の方々となつながりをしていただきました。今日も訪問看護を待っていただいている利用者さんのもとに笑顔で出発します。